

2006 年度

科目名 国語科教材研究Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文3回生 文学部教福3回生 教育教福3回生	担当者 金川 廣一郎
授業テーマ 中学校・高等学校における古典教材指導のための授業構想（前期） 言語表現学習のための教材分析と場の設定		
授業の概要と目標 前期は、中学校及び高等学校で学習する古典教材について、演習もまじえながら作品の研究から教材化へと進みます。 後期は、「話すこと・聞くこと」並びに「書くこと」という表現活動について、さまざまな場の設定をまじえながら実践的に学習します。		
評価方法 出席・テスト・レポートなどを総合的に判断します。 出席 40%、前期テスト 20%、レポート 20%、提出物 20%		
テキスト 実践的国語科教育法	著者 原 國人	出版社 新典社
参考書 講義時に随時指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 古典作品学習の今日的意義と課題 2. 古典作品の教材化と課題① 3. 古典作品の教材化と課題② 4. 古典作品の教材研究① 5. 古典作品の教材研究② 6. 古典作品の教材研究③ 7. 古典作品の教材研究④ 8. 古典作品の教材研究⑤ 9. 古典作品の教材研究⑥ 10. 古典作品の教材研究⑦ 11. 古典作品の教材研究⑧ 12. 生徒作品の二次教材化① 13. 生徒作品の二次教材化② 14. 生徒作品の二次教材化③ 15. まとめとテスト 16. 言語表現学習教材の今日的意義と課題 17. 「話すこと・聞くこと」の必要性和現状 18. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定① 19. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定② 20. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定③ 21. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定④ 22. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定⑤ 23. 「話すこと・聞くこと」の学習形態と場の設定⑥ 24. 授業過程と教材研究 25. 「書くこと」の必要性和現状 26. 「書くこと」の学習の目的設定と手だて① 27. 「書くこと」の学習の目的設定と手だて② 28. 「書くこと」の学習の目的設定と手だて③ 29. 生徒作品の二次教材化④ 30. まとめ		